

## 事例検討

### 1 (債権の目的, 効力)

甲は、乙との間で、乙がその倉庫に保管中のB型ワープロ500台のうち200台を、契約の日から1週間後を引渡期日と定めて購入する契約を締結した。甲の債権は、制限種類債権であるとして、次の各場合につき、甲乙間の法律関係を論ぜよ。

- 1 契約の日の翌日、B型ワープロ全部が倉庫から消失してしまった場合
- 2 乙が甲に引き渡すために、あらかじめ甲が指示したB型ワープロ200台を倉庫から搬出し、トラックに積載しておいたところ、トラックごとそれが消失してしまった場合

### 2 (債務不履行)

甲は、所有する土地を、5000万円で乙に売却する契約を9月1日に結び、10月1日に引き渡すことに決めた。

ところが、10月1日に、乙が代金を提供したのに甲は土地の引渡しをしない。

乙は甲に対して何を請求できるか。

### 3 (債権譲渡)

甲会社は、乙会社に対して売掛債権を持っている。

甲会社は、早期に運転資金を必要としている。

どのような方法が考えられるか。

#### 4 (瑕疵担保責任, 製造物責任)

甲は, 乙会社製造のテレビを丙電気店で購入したが, テレビに欠陥があったため, テレビから出火し, 甲の家屋は全焼してしまった。

甲は, 乙, 丙に対して, いかなる請求ができるか。

#### 5 (不法行為責任)

甲は, 道路を横断中, 脇見運転をしていた乙運転の自動車にひかれ, 軽傷を負った。

ところが, 甲が特殊な病気に罹患していたため, 死亡した場合, 死亡したことについても損害賠償請求できるか。甲が, 高齢のため, あるいは特異な性格のために治療期間が長引いた場合はどうか。